



「2人の仲が深まる10のコト」を開発し、 観光フライヤーを制作するワークショップを開催

12月8日(木)に神奈川県三浦市で開催

海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団がオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」の一環として、一般社団法人日本ロマンチスト協会(本部:長崎県雲仙市愛野町)と日本財団(東京都港区)が共同で実施している『恋する灯台プロジェクト』。本プロジェクトにおいて『恋する灯台』に選ばれた安房埼灯台・城ヶ島灯台(神奈川県三浦市)周辺の観光資源をロマンチックな視点で再定義し、観光フライヤーを制作する「ワールドクエスト」式ワークショップを平成28年12月8日(木)に開催いたします。

地域の情報が “プレミアムな体験スポット” に大変身

【「ワールドクエスト」式ワークショップとは?】

WORLD QUEST

地域資源や地点情報をロマンチックな視点や発想で切り取り、
その地域でしか体験できない“特別なアクション”へと落とし込む、
日本ロマンチスト協会発のオリジナルワークショップ。
単なる場所の説明ではなく、**ここでしか味わえない体験＝クエスト(QUEST)**を洗い出す。

今回は全国の“恋する灯台のまち”を舞台に、その地域の人々の協力を得ながらクエストを創り出し、
恋する灯台を巡り、2人の仲が深まる10のコトを開発する。

地域住民が開発する「2人の仲が深まるクエスト」で、観光フライヤーを制作

本ワークショップでは、参加者となる三浦市民に、三浦市のデートにふさわしいスポット情報を持ち寄ってもらい、それらを日本ロマンチスト協会のロマンス宣教師(協会員)の進行のもと、
ここでしか味わえない体験＝クエストに変換していきます。

その過程で、ガイドブックには載っていない隠れた地域の魅力を発掘していき、
2時間半のワークショップを通じて、**約10個のクエスト**が創り出されます。

そのクエストから既存の観光ガイド等とは異なる視点の**観光フライヤー**を制作し、
「恋する灯台のまち」である三浦市を盛り上げる**観光アイテム**として活用されます。

【ワークショップ開催概要】

日時:平成28年12月8日(木) 19:00~21:30

場所:城ヶ島区民センター

〒238-0237 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島411番地

主催:日本ロマンチスト協会、日本財団 協力:三浦市経済部観光商工課、三浦市観光協会

※一般参加者は募っておりません。

未来を照らす灯台が、ふたりの道標になる。

【「恋する灯台プロジェクト」概要】

埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、各地域の強力な観光資源とするために、灯台を『恋する灯台』というロマンスの聖地として認定し再価値化するプロジェクト。『恋する灯台』というキーワードを軸に、地域が主体となって盛り上げていく機運を高め、灯台への集客アップを図る。

灯台を訪れることで、海へ関心をもつ人が増加することを最終目的として活動する。

当プロジェクトは、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団がオールジャパンで推進するプロジェクト「海と日本プロジェクト」の一環として推進している。



【海と日本プロジェクトとは】

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクト。

【日本ロマンチスト協会とは】

「地球環境や世界平和も大事ですが、ロマンチストという“大切な人を世界で一番幸せにできる人”が増えると、夫婦環境や恋人環境ばかりか、社会全体が豊かになるかもしれない」、ということに気がついたトキメク大人たちがはじめた秘”蜜”結社。

長崎県雲仙市愛野町を「ロマンチストの聖地」として本部を設置し、2008年5月より活動を開始。2008年6月19日に「ロマンスの日」を制定。「ジャガイモ畑の中心でロマンスを叫ぶ」、「愛の聖地復興プロジェクト」など、数々の話題を巻き起こし、活動を拡大中。現在、クリエイターやアナウンサー、タレント等の放送文化人、経営者などの財界人を中心に約1600名(2016年6月現在、)の会員組織として活動中の一般社団法人。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本ロマンチスト協会『恋する灯台プロジェクト』運営事務局

Mail: toudai@japan-romance.com

URL: <http://romance-toudai.uminohi.jp/>